

◇干潟観察会を開催しました

平成26年8月14日 泡瀬干潟にて沖縄市泡瀬第三自治会の大人12名+子供6名の計18名の参加者と一緒に、干潟観察会を開催しました。今回の主催は、沖縄市教育委員会生涯学習課で、本課が市民向けに実施している出前講座の一環です。午前中は、琉球大学の博物館（風樹館）の見学をしてきたそうで、観察会は午後からです。講師に、干潟の自然に詳しい先生を2名お招きし、干潟観察会を実施しました。

観察会当日は、雷注意報発令であったが、観察会を行う場所の周辺には雷雲（入道雲）がなく晴れているので、座学は行わず、泡瀬第三公民館から皆で車にて泡瀬干潟へ移動し、通常の観察会を行いました。生涯学習課から琉球大学教育学部のインターンシップ生達が参加して下さり、子供達の面倒を見てくれました。

オキナワハクセンシオマネキやケブカガニ、ミナミベニツケガニ、オウギガニの仲間、ウミケムシ、ニセクロナマコなど様々な生き物が観察できました。当日は、砂州も干出しており、皆でそこまで行き、観察。こぶし大のサンゴ礫が点々と砂の上にあり、手に取ると小さな丸い形の穴が開いています。その中をよく見ると、イボテガニというサンゴ礫に自ら穴を作って入って生活する変わり種のカニが観察できました。

